佐世保市立黒島小中学校 黒島はまゆう学園 校長 惣田 正宏

令和元年度前期学校評価の結果及び今後の対応について

このことにつきまして、下記のとおりお知らせします。よろしくお願いします。

記

1 結果

裏面のとおり

2 分析及び今後の対応について

- (1) 学校の方針及び信頼される学校づくり
- ○今後も、<u>授業参観をはじめ、学校便り・学級便り・学校ホームページ等により、学校の教育方</u> 針や活動内容を発信していくよう努めてまいります。
- (2) 進んで意欲的に学ぶ子ども
- 〇今年度も、多くの<u>児童生徒は「授業がわかりやすい」「学校は学力向上のために努力している」と回答</u>しています。今後も発達段階や個に応じた授業となるよう改善を図るとともに、学力の向上に力を入れてまいります。
- ○<u>「家庭学習の習慣」については、少しずつ改善が見られます</u>ので、今後も定着していくよう取組を継続していきたいと思います。

(3) 優しく感性豊かな子ども

- ○人権教育の充実のために取り組んでいる内容について、今後も<u>学校便り・学級便り・学校ホームページ等で情報発信を行っていく</u>よう努めるとともに、保護者・地域からの評価が低いのはなぜかを探求していきたいと思います。
- 〇あいさつは、児童・生徒の意識に少しずつ高まりが見られます。今後も<u>職員・保護者・地域から率先・継続して子どもにあいさつを行っていきたいと考えます。家庭での御協力をお願いします。</u>
- ○「好ましい友達関係」について、子どもは3.7という結果でしたが、子ども達なりに人間関係に悩むことはありますので、<u>定期的にアンケート・面談をするなど、児童・生徒把握に努め、問題の早期発見・早期対応を図ります。</u>

(4) 最後までやり抜く子ども

○依然として<u>困難なことに対してねばり強くやり遂げることに課題</u>が見られます。今後も「我慢すること・したくなくても努力をすること」の大切さについてしっかりと伝え、<u>様々な学</u>習活動において、そのような負荷を乗り越えさせる活動を設定していきます。

(5)全体を通して及び前年度と比較して

○全体の平均ポイントは3.5と昨年度と同様の結果でしたが、全体的に学校の教育活動や児童・生徒の様子が十分に伝わっていない様子が見られますので、家庭及び地域と共通理解を深めながら課題を改善していけるよう、努力を積み重ねてまいります。

以上